

## 平成28年度 法人の課題と方針

部 門  
理 事 長

計 画 立 案 者  
東 海 林 正 樹

三育ライフの使命は、地域社会における社会福祉の推進と向上と充実です。超高齢社会を迎え、地域社会の福祉的必要性は多岐に渡り、福祉事業の意義と必要性はますます大きくなっていると言わざるを得ません。昨年の介護報酬の改定が物語っているように、社会保障費の財源は厳しさを増すばかりです。そのような中で、私たちは介護サービス維持向上に向け必要な人材を確保し、介護従事者としての専門性を高めて、使命達成のために努めて参りたいと思います。

太平洋戦争末期、日本には花のない時期がありました。国は食糧生産を優先させ、畑や耕作地に花を栽培することを禁止し、花の苗や種子は焼却処分されたのです。このぞっとするような恐ろしい史実に基づいて書かれた小説が、田宮虎彦の「花」という作品です。花は、お腹を満たすことはできませんので、食糧確保のために、できる限り畑や耕作地を食糧生産に使用しなければならなかった、ということなのでしょう。

しかし、食糧増産の国策のために、花をつくるのは国賊だという風潮の中で、小説「花」の主人公は、花を造るのが何故悪いのかと考え、「わたしは花なしには生きていけない。花は口で食べることはできないが、口で食べるものだけが食べ物ではない。心で食べるものがなくなったとき、心は生きていけない」と叫ぶのですが、私たちも心に食べ物が必要です。潤いや感動、希望が、私たちには必要なのです。

社会福祉法人三育ライフの理念は、「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕えることによって神の愛の実現に奉仕する」というものです。当法人の働きが、少しでも利用者やご家族の皆様潤いや感動、希望や勇気を与える花となることができるよう願っています。私たちの言葉や振る舞いに、尚、拙く未熟な点はあろうかと思いますが、関係者各位のご理解とご支援の中で、この一年、地域社会の期待と信頼に応える社会福祉法人として福祉介護の事業を進めて参りたいと思います。